

○ 県新人大会について

○) 県新人大会の実施方法および感染対策について

令和3年10月22日(金)

広島県高等学校体育連盟バドミントン専門部
競技委員長 池田 晋也(高陽高等学校)

はじめに

今大会の実施に係る新型コロナウイルス感染防止対策としては、『広島県高等学校体育連盟主催大会新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(令和3年5月26日版)』に準じて行います。この別紙においては試合当日の流れにおいて今年度の県総体での対策を踏まえた形で、特に昨年度までの県新人大会と違う点について示しております。尚ガイドラインについては県高体連専門部HPに掲載されております。

1. 学校対抗戦・個人対抗戦共通事項

- 遠征の実施方法について、公共交通機関、貸し切りバス及び自家用車の利用、宿泊については各学校で検討、判断し実施すること。
- 試合中には十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが、試合以外の場面では必ずマスクを着用すること。
- 観覧席へ座る際は、前後左右で連続しないように間隔を開けて着席すること(座席割当表配布)。
- 開会式・閉会式および表彰式は行わず、朝は開場、受付完了後放送によって諸注意のみを行う。
- 試合の状況を見ながら、複数回にわたり、館内の換気を行う。
- 開場後、朝の公式練習は行わず、当日の動きの詳細について放送で指示をするので入場したら所定の位置に着席し、放送があるまで待機をすること。
- 開場後、受付時に監督会議資料を配布し、選手変更、棄権等の届け出をする。監督会議は行わない。
- 試合を待つ間は観客席の自身の席で待機すること。フロア出入口で待機や、席の移動をしない。
- 競技フロアへの出入りの度に、出入口で必ず手指の消毒を行うこと。
- 審判のいすや本部席周りの消毒液、除菌シートは本部で準備するが、各チームでコーチングシートや、観覧席用の除菌シートについて必ず、消毒液もできる限り持参すること。
- 定期的に入出口、階段、トイレなどを中心に館内の消毒を行う。
- 審判台は使用しない。線審にはイスを用意するが、試合の度に消毒を行う。
- 審判用紙への勝者サインは行わない。確認のため主審が勝者の氏名を記入すること。
- 試合中、ペアでの話は対面せず、最小限の声で行う。
- 個人の試合に用いる道具(ラケット・シューズ・ウェア等)の貸し借りは禁止とし、本人以外の者が触れることがないようにする。
- コーチングシート(各エンド1席)には、同チームの監督かコーチが着席することができる。
- インターバル中の選手へのアドバイスは同時に1名のみ可。選手と対面せず、距離をとって行うこと。
- 競技フロアへ持ってきた荷物は全てバッグの中に入れておくか上に置き、床に直接置かない。
- 氷嚢や飲料は、選手が自分で用意しておき、自分で使用すること。チームメイトおよび顧問、コーチが届けることや、氷嚢を首に当てる行為は行わないこと。
- 声を出しての応援は禁止する。席を移動し、他校の使用している席や通路で応援をしないこと。
- 試合で敗退した選手は手指の消毒をし、自分の試合のスコアシート、バインダー、本部から出されたシャトル、ストップウォッチ等審判用具を本部席まで運び、次の試合の審判用具受け取り、審判を行う。
- 審判を終えた学校は速やかに会場を出ること。

2. 11/13.14 学校対抗戦

①11/13 大会 1 日目（1 回戦～ベスト 16 がけまで実施）※第 1・2 シードはベスト 8 がけまで実施。

- 開場入場時刻を 2 回に分け、体育館内の入場者数を削減し密を避ける。（タイムテーブル、座席割参照）
- 各入場時刻になったら、監督と主将はロビーで受付をし、諸注意を受ける。他のチーム関係者は入場後そのまま割り当てられた座席まで移動し、着席する。
- 監督は受付時に学校同行者体調記録表を提出後、1 回戦のオーダー用紙を速やかに記入しておく。
- 受付完了後、オーダー交換および試合進行についての詳細連絡を監督、主将からチーム全員へ伝達。
- 1 回戦より 2 コート併用して試合を行う。進行状況により 3 コート併用することもある。
- チームのベンチは各エンドに 3 席設け、コーチングシートは各エンドに 1 席ずつ設置する。
- オーダー交換は該当の試合番号を放送で呼び出し、オーダー交換所で専門部委員または本部役員が立会いの下監督同士が行う。
- 試合のコール後、監督、選手は全員コートに整列し、審判立会いの下あいさつした後、オーダー・対戦コートの確認を行う。ただし握手は行わない。
- ベスト 32 がけまで、線審は相互に各コート 1 人ずつ出し合って行う。
- あいさつ後の円陣での声出しは禁止。
- 全ての試合前に審判計時の下 3 分間の練習を行うことができる。シングルスの場合は相手選手と練習を行う。練習用シャトルは各校持ち寄りとする。
- 勝敗確定後、最初に集合したコートに監督、選手は全員コートに整列し、審判立会いの下あいさつを行う。ただし握手は行わない。
- 敗戦チームは手指の消毒後、自分たちの試合の審判用具を本部席まで運び、次の試合の審判を行うか、会場を後にするか等の指示を受ける。（試合が長引き、且つ遠方の学校は審判候補から外す）
- 各チームで使用した椅子等をフロアに設置の除菌シートで拭いてからフロアを出る。
- 勝利チーム監督は本部席にて次戦のオーダー用紙を受け取り、記入してオーダー交換に備える。
（ベスト 16 がけ勝利後、2 日目朝に行われるベスト 8 がけのオーダー用紙を受け取っておくこと）
- 連続する対戦間には最低 15 分の時間を空ける。対戦内ダブルスからシングルスで選手が連続する試合間は最大 10 分の時間を空ける。
- 各開場時刻に指示があるまでは会場に入ることにはできない。外でのウォーミングアップについては禁止。周囲の迷惑にならないよう時間丁度を目指し会場に到着すること
- 敗戦チームは敗戦後、もしくは次の試合の審判が終わり次第、速やかに会場から出ること。チームの集合ロビー、もしくは会場外で行うこと。
- 1 日目の最後の試合で敗戦したチームの 2 日目最初の試合での敗者審判は行わない。

②11/14 大会 2 日目（ベスト 8 がけ～決勝まで実施）

- ベスト 8 がけ・準々決勝は 1 面スタート，準決勝以降は 3 面スタートとする。試合の進行状況や空きコート
の状況によりはじめから最大 3 面まで開いて行う場合がある。
- チームのベンチは各エンドに 3 席設け，コーチングシートは各エンドに 1 席ずつ設置する。
- 開場後，指定の座席に着席。受付完了後，オーダー交換および試合進行についての詳細連絡を放送で行
う。
- 監督は昨日受け取った 1 試合目のオーダー用紙を対戦相手確認後速やかに記入しておく。
- オーダー交換は該当の試合番号を放送で呼び出し，オーダー交換所で専門部委員または本部役員が立会い
の下監督同士が行う。
- 試合のコール後，監督，選手は全員コートに整列し，審判立会いの下あいさつした後，オーダー・対戦コ
ートの確認を行う。ただし握手は行わない。
- ベスト 8 がけの試合については審判を相互に各コート 2 人ずつ出し合って行う。
- 全ての試合前に審判計時の下 3 分間の練習を行うことができる。シングルスの場合は相手選手と練習を行
う。練習用シャトルは各校持ち寄りとする。
- 勝敗確定後，最初に集合したコートに監督，選手は全員コートに整列し，審判立会いの下あいさつを行
う。ただし握手は行わない。
- 敗戦チームは手指の消毒後，自分たちの試合の審判用具を本部席まで運び，次の試合の審判を行う。
- 勝利チームはコーチングシートの除菌をフロアーに設置の除菌シートで拭いてからフロアーを出る。
- 勝利チーム監督は本部席にて次戦のオーダー用紙を受け取り，記入してオーダー交換に備える。
- 連続する対戦間には最低 1 5 分の時間を空ける。対戦内ダブルスからシングルスで選手が連続する試合間
は最大 1 0 分の時間を空ける。

3. 11/20.21 個人対抗戦

- 会場に入場できるのは各チーム監督，コーチ，今大会個人戦出場選手のみ
(11/20 に敗退の選手も 11/21 会場への入場は可能)
- コーチングシートに座ることができるのは各チーム監督かコーチのみ
- 開場後，指定の座席に着席。受付完了後，試合進行についての詳細連絡を放送で行う。
- 朝の全体での練習は行わず，その日の 1 試合目の試合前（基本的に 1 回戦，シード選手は 2 回戦）に審判
計時の下 5 分間の練習を行うことができる。双方が 2 試合目以降の試合前練習は行わない。シングルス
の場合は相手選手と練習を行う。練習用シャトルは各校持ち寄りとする。
- 1 日目はダブルス全ての試合，シングルス試合番号 5 6（3 2 がけ）まで行う。
- 審判は敗者審判で行い，ダブルスは 4 名（主審，線審× 2，得点表示），シングルスは 2 名（主審兼線
審，線審兼得点表示）で行う。人数の都合上，敗戦後，基本的に 2 試合連続で審判を行っていただくよう
になる。その日の 1 周目のコールでは本部より放送でシード選手や試合番号の遠い選手を中心に指名をす
る。2 周目の試合は，1 周目の勝者が線審，敗者が主審，得点表示を行う。
- 1 日目の最後の試合で敗戦した選手の 2 日目最初の試合での敗者審判は行わない。
- 2 日目の審判不足については会場校の生徒等で対応する。
- 連続する試合間は最低 1 5 分の時間を空ける。